

## 平成23年行政事業レビュー・シート (厚生労働省)

事業名	障害程度区分調査・検証事業		担当部局	障害保健福祉部	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	精神・障害保健課	福田祐典		
会計区分	一般会計		施策名	障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備し、障害者の地域における生活を支援するとともに、自殺対策を推進する。			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者を対象に支援の実態を調査し、新たな制度における支給決定プロセス構築の基礎資料とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	入所施設、在宅等の障害者を対象に支援の実態を調査する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	当初予算			388		100	
	補正予算						
	繰越し等						
	計			388		100	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	「障害者制度改革推進会議」や「総合福祉部会」での障害程度区分の見直しに関する議論の結果を踏まえ、実態調査を行う予定であったが、年度内での当会議等での結論を得ることができなかつたため、本調査の実施に至らなかった。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	「障害者制度改革推進会議」や「総合福祉部会」での障害程度区分の見直しに関する議論の結果を踏まえ、実態調査を行う予定であったが、年度内での当会議等での結論を得ことができなかつたため、本調査の実施に至らなかった。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—
単位当たりコスト	—(円/—)		算出根拠	—			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	障害程度区分調査・検証事業	0	100	新規事業			
	計	0	100				

事業所管部局による点検							
	評価	項目	特記事項				
目的・状況・予算の 資金の流れ、使途、費目・ 活動実績、成果実績	<input type="radio"/>	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。					
	<input type="radio"/>	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。					
	<input type="radio"/>	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。					
目的・状況・予算の 資金の流れ、使途、費目・ 活動実績、成果実績	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。					
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。					
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
目的・状況・予算の 資金の流れ、使途、費目・ 活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。					
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。					
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。					
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
点検結果	「障害者制度改革推進会議」や「総合福祉部会」での障害程度区分の見直しに関する議論の結果を踏まえ、実態調査を行う予定であったが、年度内での当会議等での結論を得ることができなかつたため、本調査の実施はしなかった。						
予算監視・効率化チームの所見							
現状通り	本事業については、障がい者制度改革推進会議総合福祉部会において新たな支給決定プロセスの構築が必要とされ、その構築に当たっての検討材料となる基礎資料を得るための事業であることから、政策的観点から優先度の高い事業である。						
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)							
-							
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）							

※平成22年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (单  
位 : 百万円)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてプロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

**支出先上位10者リスト**

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					